



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東
コード番号 6078 URL <https://www.valuehr.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）藤田 美智雄
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役副社長 （氏名）藤田 源太郎 TEL 03-6380-1300
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 2026年8月20日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	5,211	10.1	352	11.3	376	9.9	252	78.7
2025年12月期中間期	4,732	19.4	316	△33.5	342	△29.5	141	△55.1

（注）包括利益 2026年12月期中間期 184百万円（△3.1%） 2025年12月期中間期 190百万円（△48.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	9.45	9.44
2025年12月期中間期	5.29	5.28

（注）前年同四半期と比較して、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益が増加している理由については、添付資料の2ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報」の「（1）経営成績に関する説明」をご参照ください。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期中間期	16,706	6,802	40.5	252.78
2025年12月期	18,219	6,900	37.7	257.41

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 6,759百万円 2025年12月期 6,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2026年12月期	—	14.50			
2026年12月期（予想）			—	13.50	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	9.3	1,650	86.9	1,630	70.3	1,050	66.9	39.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

注) 詳細は、添付資料の 8 ページの「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期中間期	27,418,600株	2025年12月期	27,394,200株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	678,096株	2025年12月期	686,496株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年12月期中間期	26,716,797株	2025年12月期中間期	26,723,718株

(注1) 期末自己株式数には「従業員向け株式給付信託」が保有する当該株式 (2026年12月期 2 Q 296,700株、2025年12月期 350,000株) が含まれています。また、「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の 3 ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更に関する注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間においては、企業における健康管理業務の高度化や健康経営・人的資本経営への関心の高まりを背景に、当社の健康管理プラットフォーム及びBPOサービスへの需要は引き続き堅調に推移しました。新規顧客への導入及び既存顧客におけるサービス利用の拡大も着実に進展しております。事業は順調に推移しており、利益面においても、通期でのV字回復に向けて計画どおり進捗しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)	増減(金額)	増減(比率)
売上高	4,732,325	5,211,245	+478,919	+10.1%
営業利益	316,473	352,229	+35,755	+11.3%
経常利益	342,265	376,230	+33,964	+9.9%
親会社株主に帰属 する中間純利益	141,439	252,771	+111,331	+78.7%

〔売上高〕

新規顧客の獲得や既存顧客のサービス利用の受託業務が増加した結果、主にシステム利用料や特定保健指導が増加し、増収となりました。

〔営業利益、経常利益〕

売上高の拡大が順調に推移したほか、派遣・業務委託費の縮減など外注依存度の低下により収益性が改善したことから、増益に転換しました。

〔親会社株主に帰属する中間純利益〕

経常利益の増加に加え、保有する非上場株式の譲渡に伴い、特別利益として投資有価証券売却益59,534千円を計上したことから、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比78.7%増となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①バリューカフェテリア事業

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)	増減(金額)	増減(比率)
売上高	3,861,444	4,249,317	+387,872	+10.0%
営業利益	809,744	830,718	+20,973	+2.6%

当事業は、自社開発の健康管理プラットフォーム「バリューカフェテリア®システム」を活用し、健康保険組合の保健事業(福利厚生事業)の総合的な運営支援並びに企業の健康管理支援、福利厚生の省力化と健康経営の実施支援サービス、健康診断・結果管理等の健康管理に付随する事務代行サービス、健診機関への業務支援サービス等を提供しています。

当中間連結会計期間において、新規顧客の獲得や既存顧客におけるサービス利用の拡大により、売上高が順調に増加いたしました。また、内製体制の強化が着実に進んだことで、派遣・業務委託費についても計画を上回る縮減を実現しました。これらの結果、前年同期比で増収増益となりました。

②HRマネジメント事業

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)	増減(金額)	増減(比率)
売上高	870,880	961,927	+91,046	+10.5%
営業利益	125,663	184,095	+58,431	+46.5%

当事業は、健康保険組合の新規設立・分割・合併支援のコンサルティング及び健康保険組合の業務支援を行うBPOサービス等の業務で構成されております。

当中間連結会計期間は、BPOサービスが堅調に推移したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

*「健康経営」はNP0法人健康経営研究会の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(1)総資産16,706,962千円(前連結会計年度末比1,512,531千円減少)

主に現金及び預金の減少によるもの

(2)負債9,904,051千円(前連結会計年度比1,415,075千円減少)

主に医療機関に対する支払業務のための預り金の減少によるもの

(3)純資産6,802,910千円(前連結会計年度比97,456千円減少)

主に利益剰余金の配当によるもの

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は3,242,315千円となり、前連結会計年度末に比べ1,588,718千円減少となりました。

[各キャッシュ・フローの状況]

(1)営業活動によるキャッシュ・フロー

預り金の減少などにより、1,391,528千円の支出(前年同期は1,051,861千円の支出)

(2)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券及び無形固定資産の取得などにより、261,763千円の支出(前年同期は663,583千円の支出)

(3)財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出、配当金の支払いなどがあったものの短期借入金の増加により、64,574千円の収入(前年同期は619,662千円の支出)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、前回予想(2026年2月12日発表)に公表いたしました2026年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,931,033	3,342,315
売掛金	875,150	876,981
商品	293	835
仕掛品	6,590	6,857
貯蔵品	35,960	36,946
その他	725,371	786,965
流動資産合計	6,574,400	5,050,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,225,530	2,170,327
機械及び装置(純額)	11,461	10,032
土地	6,374,037	6,374,037
その他(純額)	174,528	188,734
有形固定資産合計	8,785,557	8,743,132
無形固定資産	1,074,597	1,174,802
投資その他の資産	1,784,938	1,738,126
固定資産合計	11,645,093	11,656,060
資産合計	18,219,494	16,706,962
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,476	198,897
短期借入金	349,200	990,700
未払法人税等	185,094	209,799
預り金	3,671,238	1,363,255
株式給付引当金	96,465	72,613
その他	1,934,647	2,306,103
流動負債合計	6,423,122	5,141,369
固定負債		
長期借入金	4,664,934	4,494,584
その他	231,070	268,097
固定負債合計	4,896,004	4,762,681
負債合計	11,319,126	9,904,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,035,317	2,051,313
資本剰余金	2,295,471	2,311,467
利益剰余金	3,347,377	3,248,399
自己株式	△1,039,781	△1,020,252
株主資本合計	6,638,384	6,590,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,607	168,670
その他の包括利益累計額合計	236,607	168,670
新株予約権	22,508	40,630
非支配株主持分	2,867	2,680
純資産合計	6,900,367	6,802,910
負債純資産合計	18,219,494	16,706,962

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,732,325	5,211,245
売上原価	3,369,711	3,758,109
売上総利益	1,362,613	1,453,135
販売費及び一般管理費	1,046,140	1,100,906
営業利益	316,473	352,229
営業外収益		
受取利息	1,070	1,886
受取配当金	18,162	23,970
投資有価証券売却益	48,523	40,743
その他	2,926	2,375
営業外収益合計	70,681	68,975
営業外費用		
支払利息	29,631	40,722
事務所移転費用	10,974	1,394
その他	4,284	2,857
営業外費用合計	44,889	44,974
経常利益	342,265	376,230
特別利益		
投資有価証券売却益	-	59,534
特別利益合計	-	59,534
特別損失		
投資有価証券評価損	-	9,400
特別損失合計	-	9,400
税金等調整前中間純利益	342,265	426,364
法人税等	201,047	173,778
中間純利益	141,217	252,585
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△222	△186
親会社株主に帰属する中間純利益	141,439	252,771

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	141,217	252,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	49,388	△67,936
その他の包括利益合計	49,388	△67,936
中間包括利益	190,606	184,648
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	190,828	184,835
非支配株主に係る中間包括利益	△222	△186

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	342,265	426,364
減価償却費	217,187	261,399
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	9,400
敷金及び保証金償却額	4,073	4,936
株式報酬費用	-	18,356
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	52,067	58,818
受取利息及び受取配当金	△19,232	△25,856
補助金収入	△850	-
支払利息	29,631	40,722
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48,523	△100,277
売上債権の増減額 (△は増加)	△95,090	△1,831
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,100	△1,794
リース投資資産の増減額 (△は増加)	19,445	20,820
未収入金の増減額 (△は増加)	95,258	75,263
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,121	12,421
未払金の増減額 (△は減少)	31,333	△63,530
未払又は未収消費税等の増減額	△77,853	△36,313
預り金の増減額 (△は減少)	△1,817,447	△2,307,983
営業預り金の増減額 (△は減少)	△35,489	△28,538
契約負債の増減額 (△は減少)	359,633	509,963
その他	△42,513	△102,589
小計	△952,880	△1,230,247
利息及び配当金の受取額	19,232	25,856
利息の支払額	△29,695	△40,613
法人税等の支払額	△89,367	△146,524
補助金の受取額	850	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,051,861	△1,391,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△159,913	△54,322
無形固定資産の取得による支出	△288,758	△272,137
投資有価証券の取得による支出	△635,947	△359,469
投資有価証券の売却による収入	490,556	423,926
敷金及び保証金の差入による支出	△69,747	△462
預り保証金の受入による収入	-	670
その他	228	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663,583	△261,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	650,000
長期借入金の返済による支出	△253,574	△178,850
ストックオプションの行使による収入	5,550	31,331
新株予約権の発行による収入	-	426
自己株式の取得による支出	-	△63,140
リース債務の返済による支出	△23,724	△23,531
配当金の支払額	△347,914	△351,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619,662	64,574
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,335,106	△1,588,718
現金及び現金同等物の期首残高	5,188,771	4,831,033
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,853,664	3,242,315

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(中間連結損益計算書)

前中間連結会計期間において、独立掲記していた「補助金収入」は金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間より「営業外収益」の「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外収益」の「補助金収入」850千円、「その他」2,076千円は、「営業外収益」の「その他」2,926千円として組み替えております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 財務制限条項

当中間連結会計期間末の借入金のうち、当社のシンジケーション方式タームローン契約(極度額6,500,000千円)には以下の財務制限条項が付されております。

- ①各年度の決算期の末日における連結の貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日における借入人の連結の貸借対照表における純資産の部の金額又は2017年12月に終了する決算期の末日における借入人の連結の貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%の金額以上に維持する。
 - ②各年度の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益が2期連続して損失とならないようにする。
- 財務制限条項の対象となる借入金残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
短期借入金	324,528千円	324,528千円
長期借入金	4,624,524千円	4,462,260千円
計	4,949,052千円	4,786,788千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給与手当	343,143千円	350,215千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	3,153,664千円	3,342,315千円
預入期間が3か月を超える定期預金	300,000千円	100,000千円
現金及び現金同等物	2,853,664千円	3,242,315千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計算書計上額(注) 2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメン ト事業	計		
売上高					
カフェテリア	934,048	-	934,048	-	934,048
ヘルスケア	2,843,344	-	2,843,344	-	2,843,344
健保運営事業等サービス	-	801,686	801,686	-	801,686
顧客との契約から生じる収益	3,777,392	801,686	4,579,079	-	4,579,079
その他の収益(注) 3	84,052	69,193	153,245	-	153,245
外部顧客への売上高	3,861,444	870,880	4,732,325	-	4,732,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,861,444	870,880	4,732,325	-	4,732,325
セグメント利益	809,744	125,663	935,407	△618,934	316,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△618,934千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益計算書計上額(注) 2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメン ト事業	計		
売上高					
カフェテリア	995,384	-	995,384	-	995,384
ヘルスケア	3,166,581	-	3,166,581	-	3,166,581
健保運営事業等サービス	-	886,329	886,329	-	886,329
顧客との契約から生じる収益	4,161,966	886,329	5,048,295	-	5,048,295
その他の収益(注) 3	87,351	75,598	162,949	-	162,949
外部顧客への売上高	4,249,317	961,927	5,211,245	-	5,211,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	4,249,317	961,927	5,211,245	-	5,211,245
セグメント利益	830,718	184,095	1,014,813	△662,583	352,229

(注) 1. セグメント利益の調整額△662,583千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。